

民主

PRESS MINSHU

2008年5月(1)

号外

定価200円(消費税込み)
年間購読料3000円(送料含む)

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

神奈川県
第5区総支部版
総支部代表 田中慶秋



お年寄りからの切実な訴え

ひどい、「後期高齢者医療制度」に、困惑と怒りの声



民主党代表 小沢一郎

おじいちゃん、おばあちゃん、
お元気ですか。
何か困ったことはありませんか？

政府は4月から75歳以上を対象に新しい医療
制度、「後期高齢者医療制度」を始めました。

東戸塚駅では高齢の女性が涙を流しながら、
「僅かばかりの年金から保険料を天引きする制度は、私に早く死になさ
いと言うのと同じで、本当に困っています。何とかしてください」と必死
の訴えを受けました。至るところで同じような悩みを打ち明けられます。

この制度は夫婦はもとより、親子でしっかり守ってきた家族の絆まで
奪ってしまう、官僚が組み立てた血も涙もない 前衆議院議員 田中けいしゅう
保険制度なのです。戦前・戦後を必死で働きぬ
いてきたお年寄りには冷たい仕打ちです。

お年寄りに負担させる前に、天下り法人に流
れる年間12.6兆円のムダ、250兆円にもおよぶ
特別会計など、官僚の握る利権を洗い出し、適
切な予算配分を可能にすることが先なのです。



「増税と物価高」家計直撃のダブルパンチ!

国民の多くが「ガソリンの暫定税率復活」を望んでいないのに、4月に120円台に下がった価格が再値上げで一気に160円を突破してしまいました。ゴールデンウィーク中は上がらないと言っていたのに、家族みんなで楽しいドライブが大出費となってしまったのではないのでしょうか。

ある調査で、過半数の人が自動車を所有できるガソリンの上限額は160円と答えています。この状況が続けばガソリンスタンドは倒産、基幹産業の自動車産業にも大きな影響がでてきそうです。

給料は上がらないのに、食料品の値上がりが家

計を直撃。家計を預かる主婦のやり繰りも、もう限界、「困ったわ」の声が聞こえています。

ガソリンが下がれば、いくらかでも家計の助けになります。後期高齢者の医療制度をやめれば生活苦はやわらぎます。サブプライム問題で大変なアメリカでさえ、緊急景気対策として16兆円の減税を行いました。ところが日本政府は減税どころか取れるところから取る、増税政策をとっています。これでは景気対策にはなりません。大幅な減税による景気対策で雇用を拡大し、その結果、税の自然増収をはかるのが本来の姿なのです。

「なぜ庶民ばかりを苦しめる」

(08年5月1日付神奈川新聞掲載)

定率減税がなくなり、社会保険料の負担も上がっているのに、給料は上がらない。食卓にかかわる物価も2割くらい上がっている中、自民党は弱い庶民をしめ上げるようなガソリンの値上げをなぜ、やるのか。経済が疲弊して

いる地方はさらに打撃だ。公共交通機関が整備されていない地方は車でなければ移動できず、ガソリンは生活必需品。運転手付きの車に乗っている首相に庶民の台所事情は分からない。(経済ジャーナリスト・萩原博子さん)

怒り爆発

ガソリン税が不要の高給公用車に!

道路以外に使わないはずの道路特定財源が国交省の全国1426台の公用車購入に使われていたことが分かった。その額は96億

円以上。民間運転手付きで一般職員までもが使用するという。民間企業では考えられないことだ。いい加減なムダ遣いが許されるべきではない。(TBS、みのもんたの朝ズバ!!より)

**若者にもお年寄りにも
安心の年金制度**

民主党代表

小沢一郎



前衆議院議員

田中けいしゅう

**後期高齢者
医療制度の撤廃**